



JAPET&CEC 台湾視察報告会

2025.2.13

2日目 : 高雄市立壽天小学校

壽天小学校 概要

- 創立： 1920年
- 児童数： 1,014人
- 教職員数： 76人
- クラス数： 37クラス



- 技術・算数は無償コンテンツ（独自カリキュラム）
- 英語は教科書＋授業支援ツール＋無償コンテンツ（教育部カリキュラム）
- AIを積極的に活用（交差点の信号制御→排出ガス削減）
- 英語教育を推進。

壽天小學校 概要

JAPET 2024 Taiwan Investigation Framework



授業の概要

- 学年： 6年
- 教科： 英語
- 教室： 言語教室
- 使用ツール： iPad
HiTeach 5
- 英語教員： 李盈蓁



授業の概要

概要：教師がAIを活用して学習タスクを指示し、学習分析のフィードバックを提供することで、生徒は英語の文型や発音を練習する。

単語の発音と
文型の復習

生徒が文型を完成させ
、AIに提出して分析

生徒の録音をAIに提出し、
音声認識で学習成果を確認

1

生徒がAIのフィードバックを確認

2

3

AIで選ばれた5つの学習成果を互いに評価し、学習の良い点と改善点を議論

4

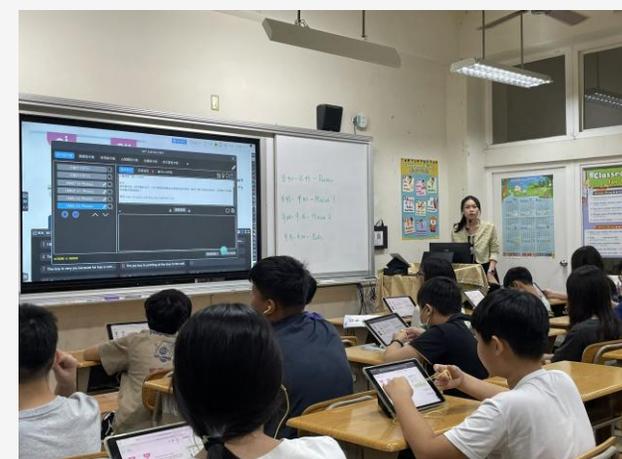
5

タスク完了で褒美を得る

6

授業の流れ

- ① 電子黒板を使って先生が一斉指導。
- ② 児童がタブレットで問題を解く。
(一部の児童は紙の教科書を見ながら解答)
- ③ 解答を提出。(早く終わった児童は別問題)
- ④ 生成AIが解答を分析し、
児童はAIからのフィードバックを確認。
- ⑤ AIで選ばれた5つの学習成果を互いに
評価し、学習の良い点と改善点を議論。



授業の流れ

- 単語のリスニング問題を実施。
(クラス内ランキングを表示)
- スピーキング問題ではタブレットの内蔵マイクを使って発音練習を行う。
- すべての問題を終わると「DojoiLand」という、マインクラフトに似たゲームができる。

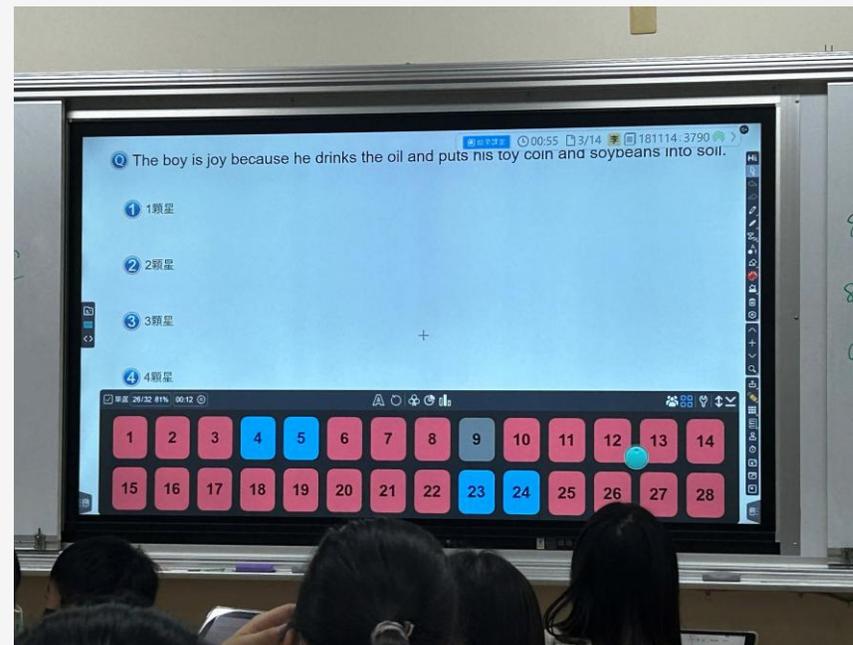


授業支援ツール

教科書の内容をベースとした授業であるが、デジタル教科書ではなく、HiTeach 5という授業支援ツールをベースに行っている。

【HiTeach 5】

複数のアプリやWEB素材との連携や、AIを活用した機能もある授業支援システム。台湾のHABOOK Groupの製品。



教室環境他

- ホワイトボードの中央部に固定設置された電子黒板が効果的に使われていた。
- 児童用デスクの下の収納部が一般的な日本の製品よりも高く、タブレットの出し入れがスムーズであった。
- 児童用イスの下部にも収納スペースがあり、利便性が高い。
- 授業中に児童のタブレット不良が発生していたが、先生、児童とも、慌てることなく落ち着いて対応していたのが印象的。(ICT支援員等はいない)
- 学校運営においてPTAが熱心に関わっており、影響力が強そう。寿天小学校ではPTAから3名が参加し、副会長が通訳してくれた。



3日目 : 新北市政府教育局

新北市について



※出典: Wikipedia

基本情報

- 台湾北部に位置（台北市を取り囲む）
- 台湾の直轄市（特別市）のひとつ
- 人口 約400万人
（内、小1から高3まで約30万人）

教育に関する課題・取組み

- 優秀な学生が台北市へ流れてしまう
- 2020年より1人1台のiPadを整備
- 各学校にICT管理教員1人を配置
- 市独自のデジタルリソースにより、教育水準向上を図る

情報研究技術開発部門 概要

DIRTD (The Department of Information Research and Technology Development under the Educational Bureau of New Taipei City Government)

新北市政府教育局の情報研究技術開発部門で、教育センターの役割を果たしている。

- 5人の技術担当教員と外部企業により運営。
- スタッフは50名体制で、内訳はプラットフォーム関連20名、デジタル学習16名（アシスタント）、タブレット保守・ネットワークセンター16名。学校にはICT管理の教員を各校1人配置。
- 2020年より、小1から高3までの児童生徒30万人を対象に、1人1台のiPadを整備中。
- オンライン学習プラットフォーム「新北市親師生平台」上に教材を集約。
- デジタルサービスプラットフォーム「新北校園通APP」により、コミュニケーションを活性化。
- 保護者向けの研修、ワークショップを22自治体で実施。理解を高める取り組みを推進。



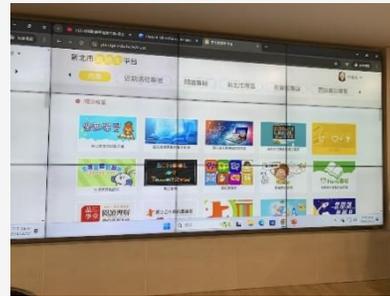
オンライン学習プラットフォーム

【新北市親師生平台】

新北市教育局が提供するオンライン学習プラットフォーム。教育部や新北市が提供するプラットフォームを統合し、教師、児童・生徒、保護者の教育活動をサポート。

(主な機能)

- 校務行政システムのアカウントとパスワードを使用し、すべての学習プラットフォームにアクセス可能。
- コンテンツ利用でポイントを獲得。ポイントはゲーム性の高いコンテンツ等に交換。コンビニでも使える。(ただし保護者のみ)
- 市、市域、学校での基本情報や利用ログ情報を確認。
- 出席情報は朝10時までに集計。
- 新北市独自でMiTAC社に委託し開発。
- ビッグデータを活用した予測機能の追加を計画。



デジタルサービスプラットフォーム

【新北校園通APP】

新北市教育局が提供するデジタルサービスプラットフォーム。このアプリは、教師、児童・生徒、保護者が学校関連の情報や成績、メッセージなどを簡単に確認できるように設計されている。

(主な機能)

- 成績確認: 成績をオンラインで確認
- 出欠管理: 出欠情報をリアルタイムで確認
- 電子連絡帳: 保護者と教師の連絡
- 学費やその他の費用をオンラインで支払い
- 時間割やイベント等のスケジュールを確認
- 学校からのメッセージを発信



所感

